

「当院で経験したレジオネラ肺炎の検討」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2019年9月11日～2021年12月31日

〔研究課題〕 当院で経験したレジオネラ肺炎の検討

〔研究目的〕

レジオネラ肺炎は都市部で多く、当院が所在する神奈川県は全国で3位です。今回、当院にて過去5年間に認められたレジオネラ肺炎について、重症度と関係する項目を明らかにし、治療に役立てることを目的として検討を行います。

〔研究意義〕

レジオネラ肺炎の重症度と関連する項目を調べることで、よりよい治療に役立てます。

〔対象・研究方法〕

高CK血症・肝機能障害・39℃を超える発熱・比較的徐脈・中枢神経症状・低Na血症の6項目から3項目以上を重症、3項目以下を軽症として分類し、重症例(5例)と軽症例(4例)に分けて、A-DROP・CURB65・基礎疾患・生活習慣・治療法について検討した。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院 第四内科

〔個人情報の取り扱い〕

匿名化し個人情報を保護します。個人情報が病院外に持ち出されることはありません。

〔その他〕

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:菊池健太郎(溝口病院第四内科学講座 准教授)

住所: 川崎市高津区二子 5-1-1 TEL: 044-844-3333(代表) [内線 3213]